

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
中学校	印南中学校	野田 明
学校所在地		
〒 649 - 1534 和歌山県日高郡印南町印南2145 tel 0738 (42) 0021 fax 0738 (42) 1042		
担当者名		役職名・担当教科
芝 光世		教諭・数学科
〔学校の概要〕 本校は日高郡中部の海岸沿い、国道42号線に面した所にあり、漁業と農業が盛んな地域である。 全校生徒は97名で、とても明るく活動的である。学校行事や体験活動にも積極的に、意欲的に参加している。 また、本校では南海トラフ地震での被害が想定されているため、防災教育や防災訓練に定期的に取り組んでおり、特に地震・津波被害を想定した防災学習などの取り組みが行われている。		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 2年生 36名	4名 職員 4名	高野山
実践研究テーマ		
郷土「わかやま」を学び、後世に伝える知識の育成		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	郷土「わかやま」の世界遺産について学ぼう	
〔キーワード〕 ふるさと学習 世界遺産学習		
〔単元目標〕 <ul style="list-style-type: none"> ・「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録された過程を学ぶことで、ふるさと和歌山に対する理解を深める。 ・参詣道の保全活動を通して、環境維持や自然保護などについて考える。 		
〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕 全体 6 時間 （「 郷土「わかやま」の世界遺産について学ぼう 」 6 時間 ）		
〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕 <ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産センター職員の方から高野山に関する講座を受けた。 ・壇上伽藍～金剛峯寺を世界遺産マスターの方々にガイドをしていただきながら、学習を行った。 ・道普請（転軸山）を行った。 		

実践校に関する事項			
〔单元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	事前学習（本校）	世界遺産センターのホームページにあるパンフレットを利用して、読み合わせや補助説明を加えながら事前学習を行った。	ワークシート
2	世界遺産講座（高野町中央公民館）	世界遺産センターの職員から、世界遺産の歴史や「高野山」の概要・歴史について説明を受けた。	観察・ワークシート
3	現地学習（壇上伽藍～金剛峯寺）	世界遺産マスターの方々にガイドをしていただきながら、現地学習を行った。	観察
4	道普請（転軸山）	世界遺産センターの職員に指導していただきながら、参詣道の保全活動を行った。	観察
5	振り返り（本校）	現地学習の後日、感想文を書かせ、振り返りを行い、自分ができることを考えさせる。	感想文
〔单元学習の成果と課題〕			
<p>○成果</p> <p>今回の学習を通して、世界遺産について深く学び、自然や文化を守ることの大切さを改めて考えることができた。高野山に初めて行く生徒も多く、金剛峯寺についての知識を得ていない生徒も多かった。</p> <p>自分たちの郷土である和歌山県の良さや、将来人々に伝えていかなければいけないことを考えることができた。道普請をさせてもらったことで、次の世代につないでいくという実感を得ることができたように感じる。</p> <p>○課題</p> <p>現地学習が遠方であるために、事前の打ち合わせや準備が重要である。</p>			
〔世界遺産学習の効果〕			
<p>普段の生活では世界遺産に触れる機会が少なく、世界遺産について考える機会も少ない。</p> <p>世界遺産学習を通して、世界遺産のことを知るだけでなく、「なぜ世界遺産ができたのか」「世界遺産とはどういうものなのか」を深く考えることができる。また現地学習にて世界遺産を体感することで、その地域や歴史について深く学ぶことができるとともに、自然や文化を守ることもについても考えることができる。</p> <p>この学習を生かし、郷土わかやまを誇りに思える人材を育てていきたい。</p>			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
<p>ふるさと学習については本校の総合的な学習の一環として取り組んでいる。</p> <p>1年時は「ふるさと和歌山について」、2年時は世界遺産「高野山」の学習を行うことで、郷土「わかやま」を知り、郷土「わかやま」に誇りを持つことができるようにしていきたいと考える。</p> <p>そのためには、現地学習および、事前・事後学習の確保に努める必要がある。</p>			

様式 2

令和 4 年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

○ 世界遺産講座を受講している様子



○ 現地学習の様子



○ 道普請の様子



○ 生徒の感想

- ・自分のふるさとの世界遺産について知ることができたのでうれしかったです。次世代に伝えていくには、私たちの力が必要であり、「世界遺産について知っている」ということも大事だと思いました。この体験で得た知識を忘れず、いろんな人に伝えていきたいです。ボランティアなどにも参加して、私の『ふるさとの世界遺産』を残し続けたいです。
- ・世界遺産は、保全活動をしていかないと登録から消されてしまう可能性もあると知りました。自分たちで守っていかないといけないなと思いました。
- ・高野山や日本の世界遺産に興味をもつことができました。私は、昔の建物や物に感心があると気づけ、もっと歴史について知りたかったです。
- ・なぜ「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録されたのかを知ることができた。そして、それらを守るためにどうしていけばよいかを考えることができました。
- ・世界遺産には、危機にさらされている所もあり、また削除される世界遺産もあると知りました。僕たちは、ふるさと学習で参詣道をきれいに人が使えるようにし、次は自分たち一人一人がボランティアで世界遺産を守ることで、世界は良くなると発見できました。
- ・参詣道の保全活動では、自分たちがすることや役割をしっかりと果たせてうれしい気持ちになりました。保全活動を通して、自然の大切さを感じ、その自然を維持できるように、私たちの力で多くの人々の理解を得たいと思いました。
- ・世界遺産を守るためにクラスメイトと協力して道普請をしたことを生かし、今後もたくさんの人と支え合って何か活動していきたいです。